

令和3年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
1	府中「G I G Aスクール構想」ステップアップ事業	総務文教	現状のまま継続すべき	<p>全国の類似自治体と比べても、ハード面に対する体制構築は先進的に進められ評価できる。授業での端末活用は進んでいるが、効果的な活用までは至っておらず、ICTリテラシー並びに教員のICT活用指導力の向上が求められる。</p> <p>タブレットの使用については、学校や教員任せにせず、府中市として学年ごとの目標を定め、子どもたちが安心安全に利用できる環境整備に配慮されたい。</p>
2	新たなヒトの呼び込み（移住定住促進事業）	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>コロナ禍の影響下においても、空き家活用や、HP作成、ワーキングホリデーなど色々な取り組みが移住につながり、一定の成果を上げているが、全国的に地方移住の機運が高まっている中では満足できる評価とは言い難い。</p> <p>移住検討者のニーズや他市町への転出要因等の把握を行い、移住の可能性のある層が狙えているのか、取り組みがマッチしているのか精査し、事業の推進を図られたい</p>
3	地域防災力強化事業	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>目標に対する実績は低調であるが、コロナ禍による影響によるものと考えられる。市民の命に関わる重要度の高い事業であり、マイ・タイムラインの普及に努め、豪雨災害の記録も活用しながら、災害に対する市民の関心を高めるよう取り組まされたい。</p> <p>地域、学校では、防災リーダーの尽力により、防災意識が高まりつつあるが、地域格差の解消に向けて事業を進められたい。</p> <p>また、消防団の将来像については、処遇の見直しなども含め、早急に考え方をまとめられたい。</p>

令和3年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
4	ドローン戦略の推進	総務文教	抜本的な見直しのうえ継続すべき	<p>ものづくり体験やレースイベントにより認知度の向上は期待できるが、すでに実証実験を終了し、実用化に向けた動きを行っている先進地もある中で、事業戦略としての効果が低いため、ファブラボのあり方を含め、抜本的な見直しを検討されたい。</p> <p>また、産業分野におけるビジネスとして成立させるためにも、専門家の知見を活用しながら府中市の指針を明確化し、取り組みを加速されたい。さらなる認知度の向上に組み、「ドローンのまち」に向けた機運の醸成を図られたい。</p>
5	DXの推進～ICTを活用したまちづくり～ 【市民生活総合支援アプリ構築事業】	総務文教	現状のまま継続すべき	<p>登録者数を増やし、早期に目標の5,000ダウンロードを達成したことは評価できるが、若者や高齢者などに十分浸透しているとは言えない。市民ニーズを的確に把握して、よりスピーディーに対応し、より利便性の高いものに改善を図られたい。今後の発展を期待し、魅力あるコンテンツによる事業を拡充されたい。</p>
6	府中版ネウボラ事業	厚生	現状のまま継続すべき	<p>コロナ禍にありながら、来所者は順調に推移しているように思われる。今後も、産前産後の精神的に不安定な母親の不安解消を図る取り組み等、切れ目のない子育て支援を継続して行っていただきたい。</p>
7	DXの推進～ICTを活用したまちづくり～ ～発達障害・児童虐待への対応（子どもの予防的見守り支援事業）	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	<p>現段階ではAI予測結果が実際の業務で使用できるレベルに達していない。継続して関連データの充実を図り、AIでの絞り込み精度を上げるとともに、実働体制の充実を含め、対面でのサポート可能な体制を着実に整えられたい。</p>
8	フレイル予防事業（元気もりもり教室ビギナー編）	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	<p>要介護者の増加予測に対し、健康寿命の延伸と重度化予防の観点からも、とても重要な事業である。蓄積しているデータを有効に活用し、PDCAサイクルが円滑に機能するよう明確に数値を定め、取り組んでいただきたい。また、フレイル予防に資する事業として体力を使うスポーツ大会の開催を検討するなどし、目標の拡充に取り組んでいただきたい。</p>

令和3年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
9	介護人材確保事業	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	介護職員の不足により、今後増加する後期高齢者への対応が懸念される。介護人材の確保は、事業所におけるサービス継続のためには必須であるが、市が行う必要性を明確化し、目的に沿った効果となっているか見極め、事業を継続していただきたい。
10	地域共生モデル事業	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	地域共生社会のために地域力のアップは市内全域で必要である。課題を明らかにしつつ、市が直接できることと、町内会・地区社協等との役割分担や達成可能な目標なのか等、事業として行うためのさらなる課題（この事業の必要性について等）の整理を行い、市内全域の事業となるよう取り組んでいただきたい。
11	産学官連携支援事業 (商工業振興)	建設産業	一部見直しのうえ継続すべき	個別企業が持つ課題に沿った技術相談や技術指導により解決に結びつくなど効果は出ている。 府中市の産業が直面している共通課題の解決に向け、大学と企業の共同研究を拡充されたい。 また、リスキリングなどデジタル関連のスキルや知識を習得し、企業でDXの推進ができるよう取り組まれない。
12	チャレンジファーム広島・上下農場研修生の新規就農に向けた支援事業	建設産業	現状のまま継続すべき	新規就農に向けた支援事業は、今後、府中市農業振興ビジョンを推進していくうえでも優れた施策であり、幅広く農業後継者を育成するなど支援策を拡充されたい。 また、就農者の安定的な収入確保が営農継続には不可欠であることから、府中市農業のブランド化を確立するなど、稼ぐ農業への転換に向け、取り組みを加速されたい。
13	駅周辺の賑わいづくり事業	建設産業	現状のまま継続すべき	第1期整備後、イベント、ワークショップ等の実証実験等を通じて、賑わいづくりに大きな効果があったと評価できる。 「駅周辺が若者や子育て世代を中心に賑わい、住み続けられるまち」を実現するため、プロモーションを継続しつつ第2期整備及び府中駅から国道まで抜ける道路の整備について早期実現に向けて取り組まれない。

令和3年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任 委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
14	恋しき・翁座保存・活用事業	建設産業	現状のまま継続すべき	<p>恋しき、翁座とも歴史的・文化的に大変貴重な建造物であり、本市を代表する観光資源である。建物の保存だけでなく、本来の目的に沿った活用を図られたい。</p> <p>その際、恋しき・翁座の両方の活用を同時に進めるには資源的に限界があることから、別々の事業として具体的な目標を掲げ、稼ぐ観光の早期実現に向けて取り組まれたい。</p>
15	市内排水路（浸水）対策事業	建設産業	現状のまま継続すべき	<p>異常気象に起因した浸水対策は急務であり、市内全域の排水路等の状況を把握して対策を講じる必要がある。</p> <p>本事業は、排水路、樋門などの現状分析を行い、対策を地域住民と共に行う、これまでにない対応である。安全安心なまちづくりに向けた詳細設計・改良工事については、優先順位をつけ早期実現に向けて取り組まれたい。</p>